令和５年１０月２日発行

クラスだより

Ｎｏ．１９

ナーサリー　にじいろ♡まむ

すくすく組

まだ自分で自由に動けない子どもには、ボディマッサージなどの触れ合いや目線を合わせて歌を歌ったり、発語を促し玩具に興味を持てるよう音を鳴らして楽しませています。又、行動範囲が広がってきた子どもには、「これなぁに？」「おいでー」「できたね」と、声掛けをしながら自発的に身体を動かして楽しめるように成長段階に合わせた環境を整え、触れ合いを大切にしていきます。

よちよち組

言葉も沢山出てきて、歌や会話も元気にその表情もとても楽しそうです。又、好きな玩具・場所で没頭する「一人遊び」から友達を誘い一緒に「平行遊び」をする姿に変わり、少しずつ友達に親しみを持つようになりました。友だちが使っている物に興味を持ち、取り合いになる事もありますが、保育者が互いの気持ちを代弁し「叩く」等、してはいけない事はきちんと伝え、正しく関われるように援助していきます。

わくわく組

わくわく組になりおよそ半年が経ちます。４月の頃より出来る事が増え、心身共に成長が見られます。

また、日々の活動を通して“その子らしさ”も感じられるようになってきました。できない事に何度もチャレンジしてうまくいかなかった事が、やっと出来るようになると嬉しくて次へチャレンジしようとする自分の「思い」を実現していく中で“自分らしさ”が出来ていくんだなぁと実感しています。子ども達のいろんな感情をしっかり受け止め、一人ひとりの“その子らしさ”を大切に育てていきます。